

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

THIS PAGE BLANK (USPTO,

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-153086

(43)Date of publication of application : 10.06.1997

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
G07F 7/08

(21)Application number : 07-310384

(71)Applicant : TEC CORP

(22)Date of filing : 29.11.1995

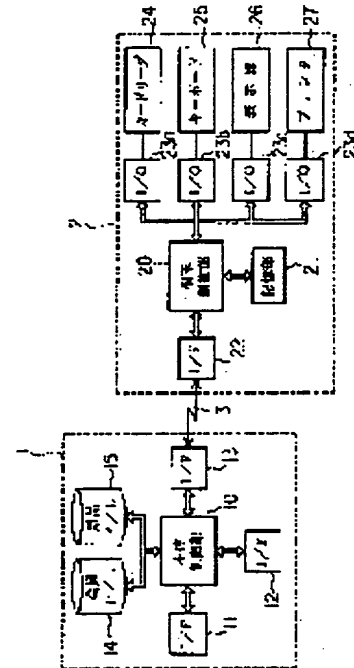
(72)Inventor : OWAKI MASAKATSU

(54) POINT INQUIRY DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a customer himself to arbitrarily select gifts, which he wants to exchange points with, in the range of accumulated points from many kinds of gifts different by exchange points.

SOLUTION: A member file 14 where accumulated points of service points are stored correspondingly to the member's number of each member and a gift file 15 exchange points preliminarily set corresponding to gift numbers of various gifts are stored are provided. Accumulated points corresponding to the member's number inputted from a card reader 24 are read out from the member file 14, and exchange points corresponding to the gift number inputted from a keyboard 5 are read out from the gift file 15, and accumulated points and gift points are compared with each other, and exchange of the gift having the inputted gift number is permitted when the number of exchange points is equal to or smaller than that of accumulated points, but it is not permitted when the number of exchange points is larger than that of accumulated points.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-153086

(43)公開日 平成9年(1997)6月10日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

庁内整理番号

FI

技術表示箇所

G O 6 F 17/60

G O 6 F 15/21

3 4 0 Z

G O 7 F 7/08

G O 7 F 7/08

Z

審査請求 未請求 請求項の数6 O.L (全 12 頁)

(21)出願番号

特願平7-310384

(22) 出願日

平成7年(1995)11月29日

(71)出願人 000003562

株式会社テック

静岡県田方郡大仁町大仁570番地

(72) 發明者 大脇 雅克

東京都府中市片町3丁目22番地 府中東芝

ビル 株式会社テックシステムセンター内

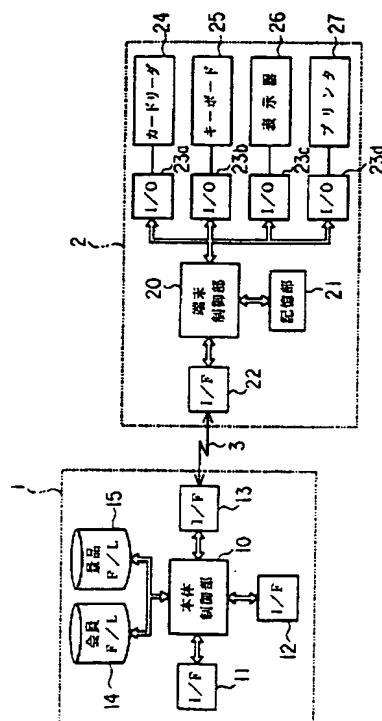
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54)【発明の名称】 ポイント照会装置

(57) 【要約】

【課題】 引換ポイントが異なる多種の景品の中から顧客自身が累計ポイントの範囲内で引換を希望する景品を任意に選択可能なポイント制度を実施する。

【解決手段】 各会員の会員番号に対応してサービスポイントの累計ポイントを記憶する会員ファイル14と、各種景品の景品番号に対応して予め設定した引換ポイントを記憶する景品ファイル15とを設ける。カードリーダー24より入力された会員番号に対応する累計ポイントを会員ファイル14から読出すとともに、キーボード25より入力された景品番号に対応する引換ポイントを景品ファイル15から読出し、その累計ポイントと景品ポイントとを比較して、引換ポイントが累計ポイント以上のときには入力景品番号を設定した景品の引換を許可し、引換ポイントが累計ポイント未満のときには景品の引換を不許可とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 各会員に対してそれぞれ設定した固有の会員識別情報に対応してサービスポイントの累計ポイントを記憶する会員ファイルと、各種景品に対してそれぞれ設定した固有の景品識別情報に対応して予め設定した引換ポイントを記憶する景品ファイルと、前記会員識別情報を入力する第1の入力手段と、前記景品識別情報を入力する第2の入力手段とを設け、第1の入力手段により入力された会員識別情報に対応する累計ポイントを前記会員ファイルから読出すとともに前記第2の入力手段により入力された景品識別情報に対応する引換ポイントを前記景品ファイルから読出し、その累計ポイントと景品ポイントとを比較して、引換ポイントが累計ポイント以上のときには前記第2の入力手段により入力された景品識別情報を設定した景品の引換を許可し、引換ポイントが累計ポイント未満のときには前記景品の引換を不許可とすることを特徴とするポイント照会装置。

【請求項2】 各会員に対してそれぞれ設定した固有の会員識別情報に対応してサービスポイントの累計ポイントを記憶する会員ファイルと、各種景品に対してそれぞれ設定した固有の景品識別情報に対応して予め設定した引換ポイントを記憶する景品ファイルと、前記会員識別情報を入力する第1の入力手段と、この第1の入力手段により入力された会員識別情報に対応する累計ポイントを前記会員ファイルから読出す累計ポイント読出し手段と、前記景品識別情報を入力する第2の入力手段と、この第2の入力手段により入力された景品識別情報に対応する引換ポイントを前記景品ファイルから読出す引換ポイント読出し手段と、この引換ポイント読出し手段により前記景品ファイルから読出した引換ポイントと前記累計ポイント読出し手段により前記会員ファイルから読出した累計ポイントとを比較するポイント比較手段と、このポイント比較手段による比較の結果引換ポイントが累計ポイント以上のとき、前記第2の入力手段により入力された景品識別情報を設定した景品の引換許可を出力し、引換ポイントが累計ポイント未満のとき前記景品の引換不許可を出力する引換可否出力手段とを具備したことを特徴とするポイント照会装置。

【請求項3】 前記ポイント比較手段による比較の結果引換ポイントが累計ポイント以上のとき、前記会員ファイルの前記第1の入力手段により入力された会員識別情報に対応する累計ポイントから前記引換ポイントを減じる引換後ポイント更新手段を具備したことを特徴とする請求項2記載のポイント照会装置。

【請求項4】 前記景品ファイルは、各景品識別情報に対応して引換ポイントとともに在庫数を記憶し、前記ポイント比較手段による比較の結果引換ポイントが累計ポイント以上のとき、前記景品ファイルの前記第2の入力手段により入力された景品識別情報に対応する在庫数を引換数分減じる引換後在庫数更新手段を具備したことを

特徴とする請求項2記載のポイント照会装置。

【請求項5】 前記引換可否出力手段は、前記ポイント比較手段による比較の結果引換ポイントが累計ポイント以上のとき、前記第2の入力手段により入力された景品識別情報を設定した景品の引換券を発行することを特徴とする請求項2記載のポイント照会装置。

【請求項6】 会員識別情報の入力とともに1客の買上げ商品登録が行われると、その登録商品の販売データに基づいてサービスポイントを算出するポイント演算機能を有した商品販売登録データ処理装置を通信手段を介して接続し、かつ、前記商品販売登録データ処理装置から会員識別情報とサービスポイントとを会員取引データとして受信する会員取引データ受信手段と、この会員取引データ受信手段により受信した会員取引データの会員識別情報で前記会員ファイルを検索し、該当会員識別情報に対応する累計ポイントに同会員取引データのサービスポイントを加算するポイント累計手段とを具備したことを特徴とする請求項2または3記載のポイント照会装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、1回の買物の合計金額等により一定比率のサービスポイントを算出し、このサービスポイントを顧客毎に累計して、累計ポイントが基準ポイントに達した顧客に特典を与えるようにした店で使用するポイント照会装置に関する。

【0002】

【従来の技術】スーパーマーケット等のなかには、顧客の定着化を図るために、例えば1回の買物の合計金額に一定比率を乗じてサービスポイントを算出し、このサービスポイントを顧客毎に累計して、累計ポイントが基準ポイントに達した顧客に特典を与えるポイントサービス制度を導入しているところがある。このような店では、累計ポイントが基準ポイントに達した顧客に対して、店員が金券や物品等の予め用意されている景品を与えると同時に、その顧客の累計ポイントから基準ポイントを差引く処理を行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このように、従来のポイントサービス制度では、累計ポイントが基準ポイントに達した顧客に対して店側が予め決まった景品を付与するものであったため、顧客にとって有益な景品を付与できるとは限らなかった。また、1回の買物の合計金額が少ない顧客は基準ポイントに達するまでに長期間を要するために、ポイントを集める意欲が湧かなかった。逆に、1回の買物の合計金額が多い顧客は直ぐに基準ポイントに達して類似した景品を何度も貰うために、サービスに魅力を感じなくなっていた。

【0004】以上の点から明らかなように、現行のポイントサービス制度を顧客にとってより魅力的なものにする

るためには、引換ポイントが異なる多種の景品の中から顧客自身が累計ポイントの範囲内で引換を希望する景品を任意に選択できるようにする必要があった。しかしながら、そのためには、店員は顧客から引換の申し出があった景品の引換ポイントとその顧客の累計ポイントとを照合して引換可能か否かを判断しなければならず、また店員は引換が可能な場合にはその顧客の累計ポイントから景品の引換ポイントを減じる処理を行わなければならず、さらには、各種景品の在庫を頻繁に管理していないと顧客が希望した景品が不足している等といったトラブルが発生するおそれがあり、店員の負担が著しく増大する懸念があった。

【0005】本発明はこのような事情に基づいて成されたものであり、その目的とするところは、引換ポイントが異なる多種の景品の中から顧客自身が累計ポイントの範囲内で引換を希望する景品を任意に選択可能なポイントサービス制度を、店員の負担になることなく実施することができるポイント照会装置を提供しようとするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本願請求項1記載の発明は、各会員に対してそれぞれ設定した固有の会員識別情報に対応してサービスポイントの累計ポイントを記憶する会員ファイルと、各種景品に対してそれぞれ設定した固有の景品識別情報に対応して予め設定した引換ポイントを記憶する景品ファイルと、会員識別情報を入力する第1の入力手段と、景品識別情報を入力する第2の入力手段とを設け、第1の入力手段により入力された会員識別情報に対応する累計ポイントを会員ファイルから読出すとともに第2の入力手段により入力された景品識別情報に対応する引換ポイントを景品ファイルから読出し、その累計ポイントと景品ポイントとを比較して、引換ポイントが累計ポイント以上のときには第2の入力手段により入力された景品識別情報を設定した景品の引換を許可し、引換ポイントが累計ポイント未満のときには景品の引換を不許可とするようにしたポイント照会装置である。

【0007】本願請求項2記載の発明は、本願請求項1記載の発明の会員ファイル、景品ファイル、第1の入力手段及び第2の入力手段に加えて、第1の入力手段により入力された会員識別情報に対応する累計ポイントを会員ファイルから読出す累計ポイント読出し手段と、第2の入力手段により入力された景品識別情報に対応する引換ポイントを景品ファイルから読出す引換ポイント読出し手段と、景品ファイルから読出した引換ポイントと会員ファイルから読出した累計ポイントとを比較するポイント比較手段と、このポイント比較手段による比較の結果引換ポイントが累計ポイント以上のとき、第2の入力手段により入力された景品識別情報を設定した景品の引換許可を出力し、引換ポイントが累計ポイント未満のと

き景品の引換不許可を出力する引換可否出力手段とを設けたポイント照会装置である。

【0008】本願請求項3記載の発明は、本願請求項2記載の発明のポイント照会装置に、ポイント比較手段による比較の結果引換ポイントが累計ポイント以上のとき、会員ファイルの第1の入力手段により入力された会員識別情報に対応する累計ポイントから引換ポイントを減じる引換後ポイント更新手段を設けたものである。

【0009】本願請求項4記載の発明は、本願請求項2記載の発明のポイント照会装置において、景品ファイルに、各景品識別情報に対応して引換ポイントとともに在庫数を記憶するようにし、かつ、ポイント比較手段による比較の結果引換ポイントが累計ポイント以上のとき、景品ファイルの第2の入力手段により入力された景品識別情報に対応する在庫数を引換数分減じる引換後在庫数更新手段を設けたものである。

【0010】本願請求項5記載の発明は、本願請求項2記載のポイント照会装置において、引換可否出力手段を、ポイント比較手段による比較の結果引換ポイントが累計ポイント以上のとき、第2の入力手段により入力された景品識別情報を設定した景品の引換券を発行するようにしたものである。

【0011】本願請求項6記載の発明は、本願請求項2または3記載のポイント照会装置において、会員識別情報の入力とともに1客の買上げ商品登録が行われると、その登録商品の販売データに基づいてサービスポイントを算出するポイント演算機能を有した商品販売登録データ処理装置を通信手段を介して接続し、かつ、商品販売登録データ処理装置から会員識別情報とサービスポイントとを会員取引データとして受信する会員取引データ受信手段と、この会員取引データ受信手段により受信した会員取引データの会員識別情報で会員ファイルを検索し、該当会員識別情報に対応する累計ポイントに同会員取引データのサービスポイントを加算するポイント累計手段とを備えたものである。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態を図面を用いて説明する。なお、この実施の形態では、ポイント会員として契約をした各顧客に対してそれぞれ固有の会員番号等を記録した会員カード6を発行し、この会員カード6を所有する顧客の買上合計金額に対して一定比率のサービスポイントを与えるようにしたポイントサービス制度を実施する店に適用する場合について説明する。

【0013】始めに、この実施の形態におけるポイント照会装置を用いた店舗システムを図2に示す。かかるポイント照会装置は、装置本体として機能するストアプロセッサ1に、ポイント照会端末2を、RS232C等の通信インタフェース回線3で接続して構成したものである。そして、ストアプロセッサ1には、LAN（ローカ

ル・エリア・ネットワーク)等の伝送路4を介して複数台のPOS(販売時点情報管理)ターミナル5を接続して、従来周知のPOSシステムを構築している。各POSターミナル5は、前記会員カード6のカードデータを読取り可能なカードリーダ7を備えたものである。また、ストアプロセッサ1には、RS232C等の通信インタフェース回線8を介して、在庫データ入力手段としてキーボード9aを有する在庫管理端末9を接続している。

【0014】ここで、各POSターミナル5は、会員番号の入力とともに1客の買上げ商品の販売登録が行われると、その買上商品の合計金額に応じてサービスポイントを算出するポイント演算機能を有している。すなわち、図3に示すように、各POSターミナル5は、商品登録手段51により1客が買上げる商品の販売データが登録されると、買上合計金額演算手段52によりその買上商品の合計金額を算出する。そして、登録締め手段53により1客が買上げる商品の登録終了が宣言されると、今回ポイント算出手段54により前記買上合計金額演算手段52で算出した合計金額に一定比率を乗じて今回のサービスポイントを算出する。そして、会員番号入力手段55により入力された会員番号情報と前記今回ポイント算出手段54で算出したサービスポイントとからポイント更新伝文を作成し、このポイント更新伝文を送信手段56により伝送路4を介してストアプロセッサ1に送信するものとなっている。なお、前記カードリーダ7は会員番号入力手段55として機能する。

【0015】図1は前記ポイント照合装置の要部構成を示すブロック図である。ストアプロセッサ1は、CPU(中央処理装置)等からなる本体制御部10を搭載し、この本体制御部10に、第1～第3のインタフェース11、12、13と、会員ファイル14と、景品ファイル15とを接続して、ポイント照合装置本体を構成する。

【0016】ここで、第1のインタフェース11には、伝送路4を介して各POSターミナル5を接続する。第2のインタフェース12には、通信インタフェース回線8を介して在庫管理端末9を接続する。第3のインタフェース13には、通信インタフェース回線3を介してポイント照合端末2を接続する。会員ファイル14は、図4に示すように、各会員に対してそれぞれ設定した固有の会員識別情報としての会員番号に対応して、サービスポイントの累計ポイントを記憶したファイルである。景品ファイル15は、図5に示すように、各種景品に対してそれぞれ設定した固有の景品識別情報としての景品番号に対応して、景品名、引換ポイント及び在庫数の各データを記憶したファイルである。

【0017】本体制御部10は、各インタフェース11～13を介して入力されるデータやコマンドに応じて、会員ファイル14及び景品ファイル15に対するデータの書込み、読出しを制御する。例えば、第1のインタフ

ェース11を介して各POSターミナル5の送信手段56により会員番号と今回のサービスポイントとを含むポイント更新伝文を受信すると(会員取引データ受信手段)、会員ファイル14から該当会員番号に対応する累計ポイントを読み出し、この累計ポイントに今回のサービスポイントを加算して最新ポイントを算出し、この最新ポイントを該当会員番号に対応する累計ポイントとして会員ファイル14に書き込む(ポイント累計手段)。また、第2のインタフェース12を介して在庫管理端末9からキー入力された景品番号と入庫数を含む在庫数更新伝文を受信すると、景品ファイル15から該当景品番号に対応する在庫数を読み出し、この在庫数に入庫数を加算して最新の在庫数を算出し、この最新の在庫数を該当景品番号に対応する在庫数として景品ファイル15に書き込む。

【0018】ポイント照会端末2は、CPU等からなる端末制御部20を搭載し、この端末制御部20に、RAM(ランダム・アクセス・メモリ)等の記憶部21、通信インタフェース回線3を介して行われるストアプロセッサ1との間のデータ通信を制御するインタフェース22及び4つのI/Oポート23a、23b、23c、23dを接続している。そして、各I/Oポート23a～23dに、それぞれカードリーダ24、キーボード25、表示器26及びプリンタ27の各入出力機器を接続している。

【0019】ここで、カードリーダ24は、各POSターミナル5に設けたカードリーダ7と同様に会員カード6のカードデータを読取るものであって、会員番号を入力する第1の入力手段を構成する。キーボード25は、図6に示すように、景品番号や引換個数等の数値データを入力するテンキーk1、数値データが個数であることを指示する個数キーk2、景品照会業務の開始を宣言する照会キーk3、景品照会業務の中止を宣言する取消キーk4、景品照会業務の終了を宣言する終了キーk5、数値データのクリアやエラー状態の解除を指示するクリアキーk6等を配設したもので、景品番号を入力する第2の入力手段を構成する。

【0020】表示器26は、例えば図12に示す景品リスト画面を表示するもので、CRTディスプレイ等を用いる。また、プリンタ27は、例えば図14に示す景品引換券を印刷するもので、サーマルリント等を用いる。

【0021】記憶部21は、図7に示すように、景品番号、景品名、引換ポイント及び在庫数の前記景品ファイル15の全データを記憶可能な景品データ記憶部71、会員番号及び累計ポイントの前記会員ファイル14の1データを記憶可能な会員データ記憶部72、景品番号及び引換個数の景品引換データを記憶可能な景品引換データ記憶部73、景品の引換成立時にセットされる景品引換フラグFの記憶部74等を形成している。

【0022】しかして、端末制御部20は、図8に示す

ように、初期状態のST（ステップ）1としてキーボード25の照会キーK3の入力を待機している。ここで、照会キーK3のキー入力を検知すると、景品照会業務の開始が宣言されたので、ST2としてストアプロセッサ1に対して景品ファイル15のデータ読出しコマンドを送出して、景品ファイル15に格納されている全データを読込む。そして、上記ストアプロセッサ1から読込んだ景品ファイル15の全データのうち、在庫数が“0”以外のデータ、つまり在庫に残っている景品のデータを景品データ記憶部71に書込む。次いで、ST3として上記景品データ記憶部71のデータに基づいて、例えば図12（a）にフォーマットの景品リスト画像データを作成し、この景品リスト画像データを表示器26に出力して、表示器26に景品リスト画面を表示させる。

【0023】次に、ST4として会員番号が入力されるのを待機する。ここで、カードリーダー24により会員カード6のカードデータを読取ると、会員番号が入力されたので、ST5としてカードデータ中の会員番号で会員データの問合せ伝文を作成し、ストアプロセッサ1に送信し、会員ファイル14から該当会員番号に対応する累計ポイントを読込む。そして、この会員番号と累計ポイントAを会員データ記憶部72に格納する（累計ポイント読出し手段）。また、ST6として上記累計ポイントAを例えば図12（a）に示す景品リスト画面の累計ポイント表示エリアXに表示させる。この状態で、キーボード25のキー入力を待機する。

【0024】ここで、テンキーK1により景品リスト画面上の景品番号に一致する数値データが置数され、続いて、テンキーK1と個数キーK2とにより景品引換個数nが入力されたならば、ST7として景品選択有りを判断し、図9に示す景品選択処理を実行する。すなわち、テンキーK1により置数された景品番号で景品データ記憶部71を検索し、この景品番号に対応する引換ポイントB及び在庫数Cを取得する（引換ポイント読出し手段）。次いで、上記引換ポイントBに景品引換個数nを乗じて引換個数分の引換ポイントnBを算出し、この引換個数分の引換ポイントnBと会員データ記憶部72内の累計ポイントAとを比較する（ポイント比較手段）。

【0025】そして、この比較の結果、累計ポイントAが引換個数分の引換ポイントnB以上のときには、累計ポイントAは景品引換条件を満足しているので、次に在庫数Cと景品引換個数nとを比較する。そして、在庫数Cが景品引換個数n以上の場合には、景品の引換が可能なので、該当する景品番号と景品引換個数nとを景品引換データ記憶部73に格納する。また、例えば図12

（a）に示す景品リスト画面のメッセージエリアYに、景品の引換許可を示すメッセージ、例えば「ご希望の景品をポイントと引換え可能です。」を表示させる（引換可否出力手段）。

【0026】次いで、会員データ記憶部72の累計ポイ

ントAから上記引換個数分の引換ポイントnBを減じる（引換後ポイント更新手段）。また、景品データ記憶部71における該当景品番号に対応する在庫数Cから景品引換個数nを減じる（引換後在庫数更新手段）。しかる後、フラグ記憶部74の引換成立フラグFを“1”にセットしたならば、前記ST6の処理に戻り、会員データ記憶部72の累計ポイントAを累計ポイント表示エリアXに表示させて、次のキー入力を待機する。

【0027】一方、引換個数分の引換ポイントnBと累計ポイントAとを比較した結果、累計ポイントAが引換個数分の引換ポイントnB未満のとき、及び累計ポイントAは引換個数分の引換ポイントnB以上であるが在庫数Cが景品引換個数n未満のときには、景品の引換ができないので、景品リスト画面のメッセージエリアYに、景品の引換不許可を示すエラーメッセージを表示させる（引換可否出力手段）。

【0028】因みに、累計ポイントAが引換個数分の引換ポイントnB未満のときには、図13（a）に示すように、「ポイントが不足しており、引換できません。」等のメッセージを表示させ、在庫数Cが景品引換個数n未満のときには、図13（b）に示すように、「大変申し訳ありませんが在庫がありません。」等のメッセージを表示させる。

【0029】その後、キーボード25のクリアキーk6が入力されるのを待機し、クリアキーk6の入力を検知したならば、上記エラーメッセージを消去する。その後、前記ST6の処理に戻り、会員データ記憶部72の累計ポイントAを累計ポイント表示エリアXに表示させて、次のキー入力を待機する。

【0030】また、このキー入力待機状態において、ST8として取消キーK4のキー入力を検知した場合には、景品照会業務の中止が宣言されたので、図10に示す照会中断処理を実行する。すなわち、フラグ記憶部74の引換成立フラグFを調べ、“1”にセットされていたならば、景品引換データ記憶部73に記憶されている景品番号及び引換点数nの景品引換データを読出し、さらに景品データ記憶部71から該当景品番号に対応する引換ポイントBを読出し、この引換ポイントBに上記引換点数nを乗じたポイントを会員データ記憶部72の会員ポイントAに加算する。また、景品データ記憶部71の該当景品番号に対応する在庫数Cに上記引換ポイントnを加算する。以上の処理を景品引換データ記憶部73内の全景品引換データについて行ったならば、この景品引換データ記憶部73のデータをクリアし、上記引換成立フラグFを“0”にリセットする。その後、前記ST6の処理に戻り、会員データ記憶部72の累計ポイントAを累計ポイント表示エリアXに表示させて、次のキー入力を待機する。なお、引換成立フラグFが“0”にリセットされていた状態で取消キーK4のキー入力を検知した場合には、前記ST6の処理に戻り、会員データ記

憶部72の累計ポイントAを累計ポイント表示エリアXに表示させて、次のキー入力を待機する。

【0031】また、このキー入力待機状態において、ST9として終了キーK5のキー入力を検知した場合には、景品照会業務の終了が宣言されたので、図11に示す照会終了処理を実行する。すなわち、フラグ記憶部74の引換成立フラグFを調べ、“1”にセットされていたならば、景品引換データ記憶部73内の景品引換データに基づいて、例えば図14に示すフォーマットの景品引換券印字データを作成し、この景品引換券印字データをプリンタ27に出力して、プリンタ27より景品引換券Pを印字発行させる。

【0032】次いで、会員データ記憶部72内の会員番号及び累計ポイントAを含む累計ポイント書換要求伝文を作成し、この要求伝文をストアプロセッサ1に送信して、会員ファイル14における該当会員番号に対応する累計ポイントを上記伝文中の累計ポイントAに書換させる。また、景品データ記憶部71内の各景品データのうち、景品引換データ記憶部73に記憶している景品番号の景品データを抽出する。そして、この抽出した景品データの景品番号と在庫数Cを含む在庫数更新要求伝文を作成し、この要求伝文をストアプロセッサ1に送信して、景品ファイル15における該当景品番号に対応する在庫数を上記伝文中の在庫数Cに書換させる。

【0033】その後、引換成立フラグFを“0”にリセットし、表示器26の景品リスト画面を消去したならば、初期状態のST1の処理に戻り、照会キーK3の入力を待機する。なお、引換成立フラグFが“0”にリセットされていた状態で終了キーK5のキー入力を検知した場合には、表示器26の景品リスト画面を消去して初期状態のST1の処理に戻り、照会キーK3の入力を待機する。

【0034】このように構成された本実施形態の店舗システムを導入した店においては、予めポイント会員契約をした各会員の会員番号を会員ファイル14に設定しておく。また、引換ポイントの異なる各種景品を用意し、それぞれに景品番号を付して、景品ファイル15を作成しておく。

【0035】この状態で、ポイント会員は、買物の代金精算の際にPOSターミナル5を操作するキャッシュヤに自己の会員番号が記録された会員カード6を提示する。会員カード6の提示を受けたキャッシュヤは、この会員カード6のデータをカードリーダー7で読み取らせるとともに、商品登録手段51により客買上商品の販売データを登録し、登録を完了すると登録締め手段53により登録終了を宣言する。そうすると、この1回の買物の買上合計金額から一定比率のサービスポイントが算出され、このサービスポイントとカードデータ中の会員番号とを含むポイント更新伝文が当該POSターミナル5からストアプロセッサ1に送信される。そして、会員ファイル1

4の該当会員番号に対応する累計ポイントに今回のサービスポイントが加算される。このようにして、会員ファイル14には各ポイント会員の毎回のサービスポイントが会員番号別に累計記憶される。

【0036】ここで、ポイント会員は、適当な時期になると、例えば店舗のサービスカウンタの近くに設置されているポイント照会端末2を操作して、自己の累計ポイントを確認し、希望する景品と引換可能ならば累計ポイントを景品に引換える。すなわち、ポイント会員は、ポイント照会端末2のキーボード24の照会キーK3を押下するとともに、自己の会員カード5をカードリーダー24に装着してカードデータを読取らせる。そうすると、表示器26に例えば図12(a)に示す景品リスト画面が表示されるとともに、この画面上の累計ポイントエリアXに自己の累計ポイントが表示されるので、ポイント会員は累計ポイントで希望する景品を引換可能か否かを判断する。そして、引換可能と判断した場合には、その希望する景品の景品番号をテンキーk1で置数する。

【0037】例えば、今、ポイント会員が景品「ぬいぐるみ」の景品番号「003」を置数したとする。そうすると、表示器26の景品リスト画面には、図12(b)に示すように、選択した景品「ぬいぐるみ」の景品番号「003」の手前に選択マーク“*”が表示されるので、ポイント会員はこのマークを確認した後、景品引換個数nを置数し、個数キーk2を押下する。

【0038】そうすると、当該ポイント会員の累計ポイントAが引換点数分の景品引換ポイントnB以上であり、かつ景品在庫数Cが引換点数n以上であるとき、景品の引換が許可される。例えば、累計ポイントAが3000点のポイント会員が、引換ポイント2000点、在庫数2点の景品「ぬいぐるみ」を1点引換えたとすると、累計ポイントAが引換点数分の景品引換ポイントnB以上であり、かつ景品在庫数Cが引換点数n以上であるので、景品の引換が許可され、表示器25に景品の引換を許可するメッセージが表示される。そして、景品リスト画面の累計ポイントが3000点から1000点に減じられる。また、景品「ぬいぐるみ」の在庫数が1点に減じられる。

【0039】これに対し、上記ポイント会員が景品「ぬいぐるみ」を2点引換えたとすると、累計ポイントAが引換点数分の景品引換ポイントnB未満となるので、景品の引換が不許可となり、表示器26に図13(a)に示すようなエラーメッセージが表示される。また、累計ポイントAが8000点のポイント会員が、引換ポイント2000点、在庫数2点の景品「ぬいぐるみ」を4点引換えたとすると、景品在庫数Cが引換点数n未満であるので、景品の引換が不許可となり、表示器26に図13(b)に示すようなエラーメッセージが表示される。

【0040】景品の引換が許可されたポイント会員は、他に引換を希望する景品がなければ終了キーK5を押下

する。そうすると、例えば図14に示す景品引換券Pがプリンタ27より印字発行されるので、ポイント会員はこの景品引換券Pをサービスカウンタの店員に渡し、景品と引換える。

【0041】このとき、会員ファイル14における当該ポイント会員の累計ポイントは、引換点数分の景品引換ポイントnBだけ減じられた値に更新される。また、景品ファイル15における該当景品の在庫数も引換点数nだけ減じられる。

【0042】なお、景品の引換が許可されたポイント会員が引換を中止する場合には、取消キーK4を押下する。こうすることにより、累計ポイントA及び在庫数Cが景品を選択する前の状態に戻される。

【0043】このように、本実施の形態によれば、各会員に対してそれぞれ設定した固有の会員番号に対応してサービスポイントの累計ポイントを記憶する会員ファイル14と、各種景品に対してそれぞれ設定した固有の景品番号に対応して予め設定した引換ポイントを記憶する景品ファイル15とを装置本体としてのストアプロセッサ1に設け、会員番号を入力する第1の入力手段と、景品番号を入力する第2の入力手段とをポイント照会端末2に設けている。そして、第1の入力手段により入力された会員番号に対応する累計ポイントを会員ファイル14から読出すとともに第2の入力手段により入力された景品番号に対応する引換ポイントを景品ファイル15から読出し、その累計ポイントと景品ポイントとを比較して、引換ポイントが累計ポイント以上のときには第2の入力手段により入力された景品番号を設定した景品の引換を許可し、引換ポイントが累計ポイント未満のときには前記景品の引換を不許可としている。

【0044】したがって、引換ポイントが異なる多種の景品の中から顧客自身が累計ポイントの範囲内で引換を希望する景品を任意に選択することができる。その結果、顧客にとってポイントサービス制度が大変魅力的なサービス制度となり、販売の促進、顧客の定着化に優れた効果を奏し得る。

【0045】また、本実施の形態によれば、ポイントと会員の累計ポイントとその会員が選択した景品の引換ポイントとを比較した結果、引換ポイントが累計ポイント以上であり引換が許可されたとき、会員ファイル14上の該当ポイント会員の累計ポイントから引換が許可された景品の引換ポイントを自動的に減じるようにしている。したがって、店員が顧客から引換の申し出があった景品の引換ポイントとその顧客の累計ポイントとを照合して引換可能か否かを判断したり、引換が可能な場合にその顧客の累計ポイントから景品の引換ポイントを減じる処理を手作業で行ったりする必要がないので、店員の負担が増加するおそれはない。

【0046】また、本実施の形態によれば、景品ファイル15に各景品の在庫数を記憶するようにし、引換が許

可された景品の在庫数から引換点数を自動的に引き去るようにしている。そして、在庫数を越える景品個数を選択できないように制限している。したがって、各種景品の在庫を人為的に頻繁に管理しなくても顧客が希望した景品が不足している等といったトラブルが発生するおそれがないので、この点からも店員の負担を軽減できる効果を奏する。

【0047】なお、前記実施の形態では、ポイント照会装置を、ストアプロセッサ1からなる装置本体とポイント照会端末2とに分け、両者を通信インタフェース回線3により接続した構成としたが、会員ファイル14及び景品ファイル15をポイント照会端末2側に設けることにより、ポイント照会装置を端末単体で構成してもよい。

【0048】

【発明の効果】以上詳述したように本発明によれば、引換ポイントが異なる多種の景品の中から顧客自身が累計ポイントの範囲内で引換を希望する景品を任意に選択可能なポイントサービス制度を、店員の負担になることなく実施することができるポイント照会装置を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施の形態であるポイント照会装置の要部ブロック図。

【図2】 同実施の形態であるポイント照会装置を用いた店舗システムを示すブロック図。

【図3】 図2におけるPOSターミナルの機能ブロック図。

【図4】 図1における会員ファイルの構成図。

【図5】 図1における景品ファイルの構成図。

【図6】 図1におけるキーボードのキー配置図。

【図7】 図1における記憶部の主要なメモリエリアを示す図。

【図8】 図1における端末制御部が実行するメイン処理を示す流れ図。

【図9】 図8における景品引換処理を具体的に示す流れ図。

【図10】 図8における照会中断処理を具体的に示す流れ図。

【図11】 図8における照会終了処理を具体的に示す流れ図。

【図12】 同実施の形態での景品リスト画面の表示例を示す図。

【図13】 同実施の形態での景品リスト画面のメッセージ表示例を示す図。

【図14】 同実施の形態での景品引換券の印字例を示す図。

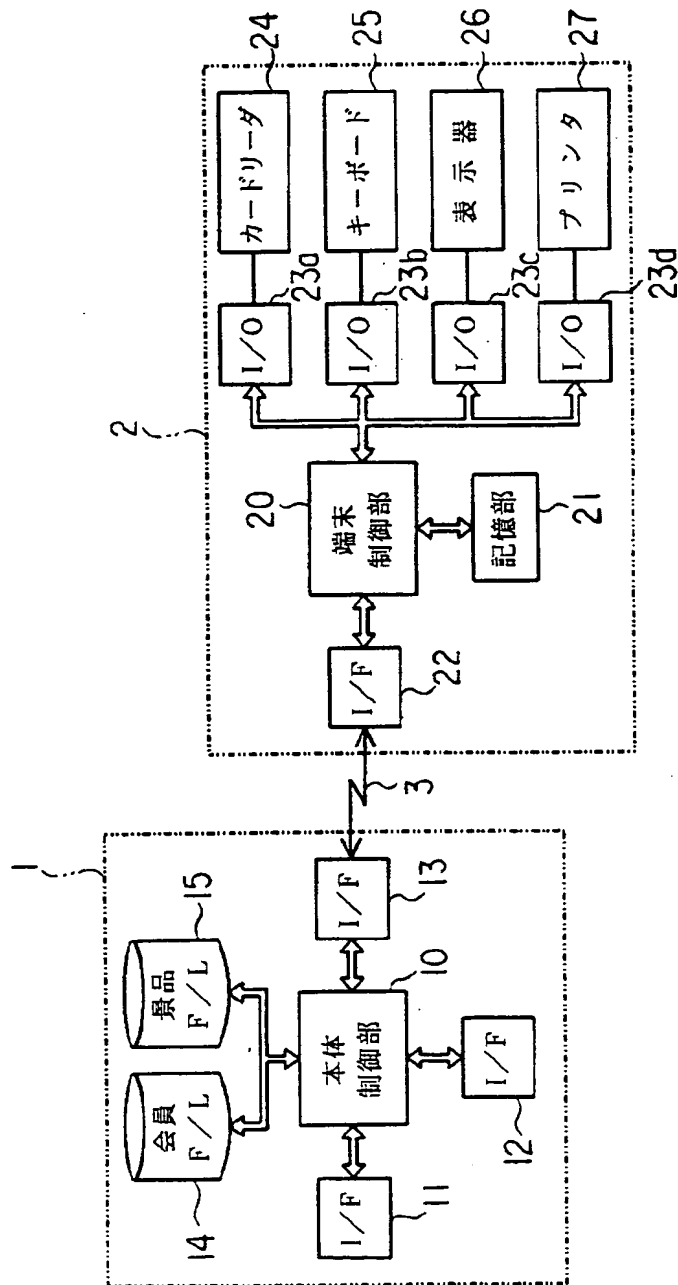
【符号の説明】

- 1…ストアプロセッサ
- 2…ポイント照会端末

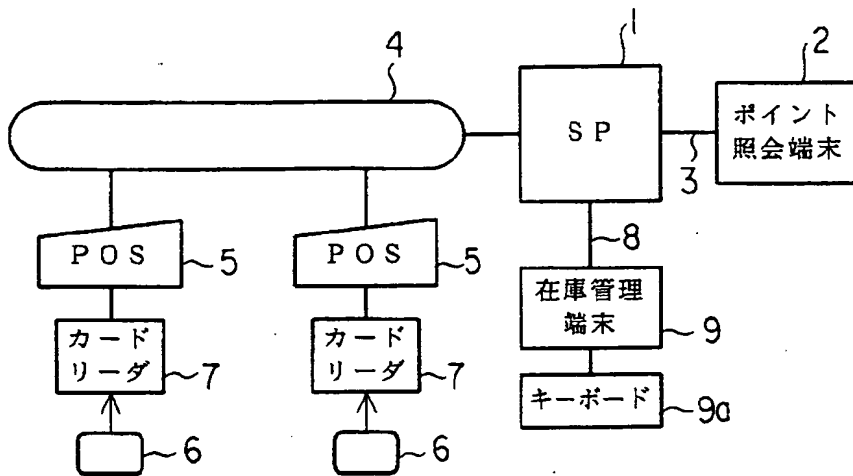
5…POSターミナル
 6…会員カード
 7, 24…カードリーダー
 9…在庫管理端末
 10…本体制御部
 14…会員ファイル

15…景品ファイル
 20…端末制御部
 21…記憶部
 25…キーボード
 26…表示器
 27…プリンタ

【図1】



【図2】

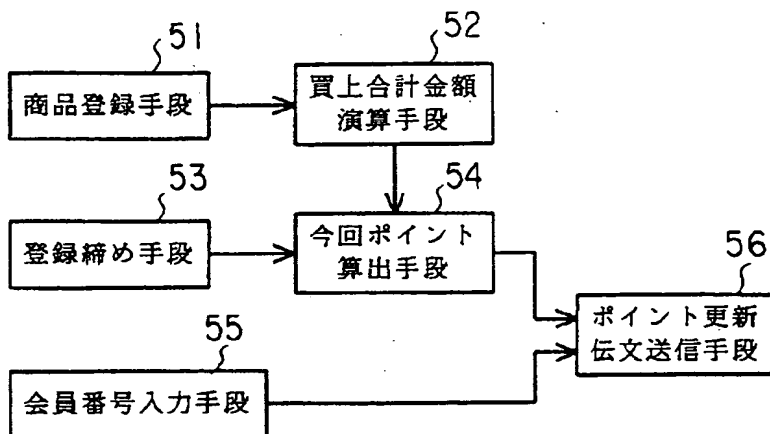


【図4】

会員番号	累計ポイント
35023181	1 2 3 4
35025188	4 9 0 0
32924022	3 0 2 2
76469080	8 8
55617402	9 3 0
68366766	

14

【図3】

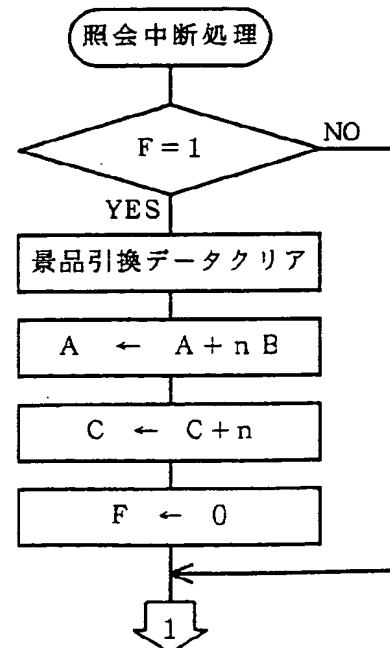


【図5】

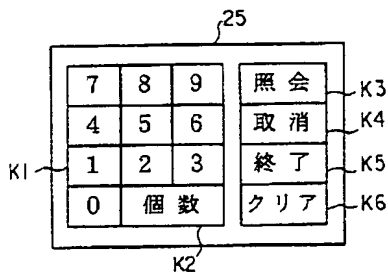
景品番号	景品名	引換ポイント	在庫数
001	商品券	5000	100
002	トースター	3500	22
003	ぬいぐるみ	2000	2
004	旅行券	10000	30
005	ラジオ	5000	8
006	調味料詰め合せ	1000	51

15

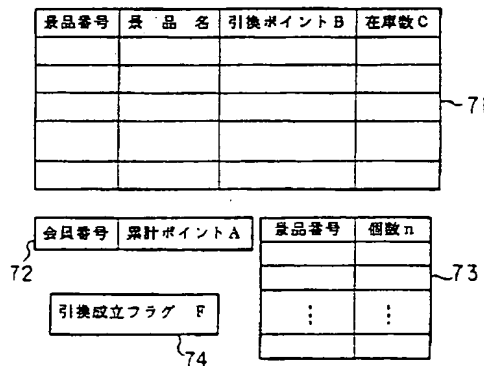
【図10】



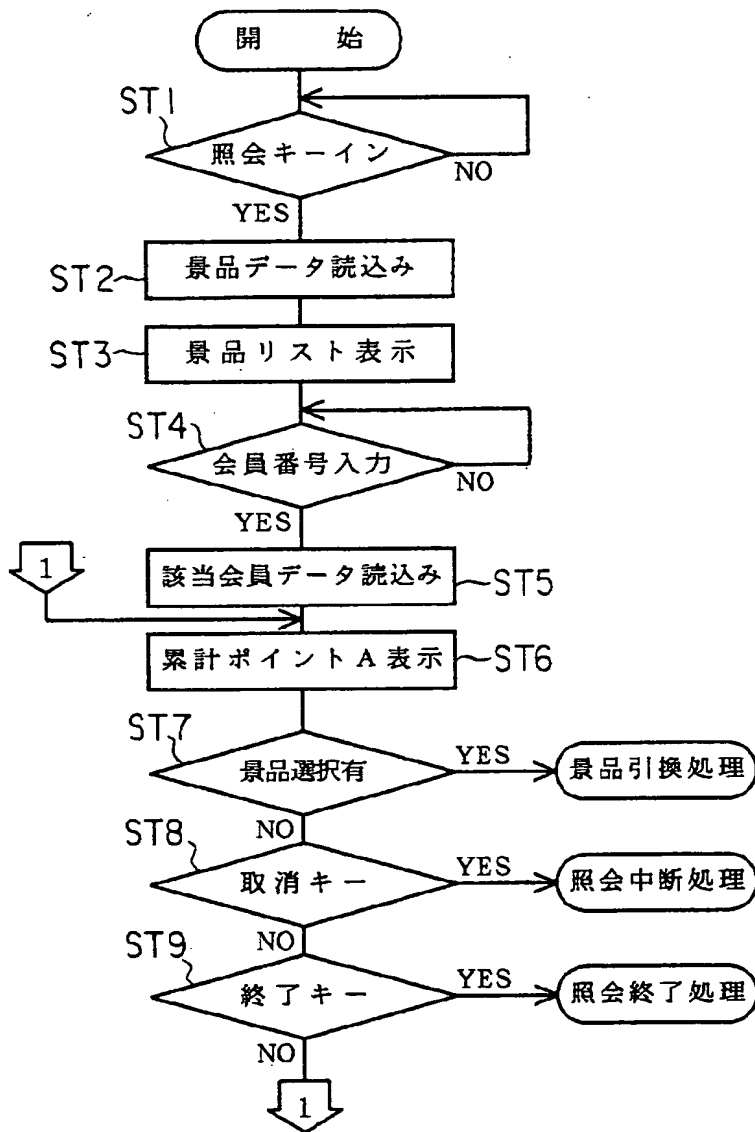
【図6】



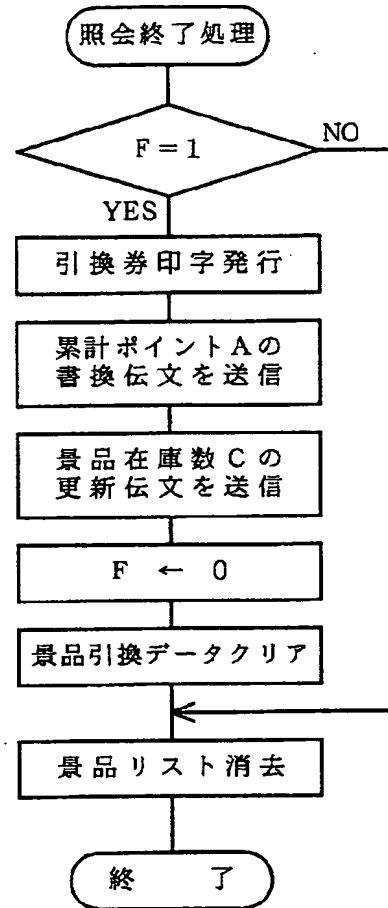
【図7】



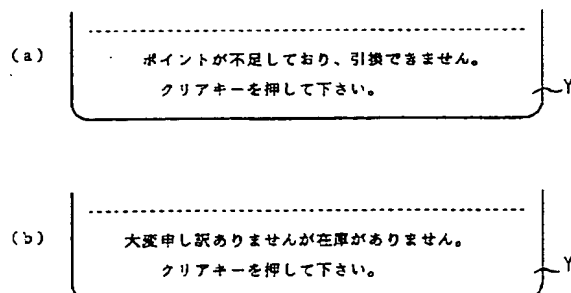
【図8】



【図11】



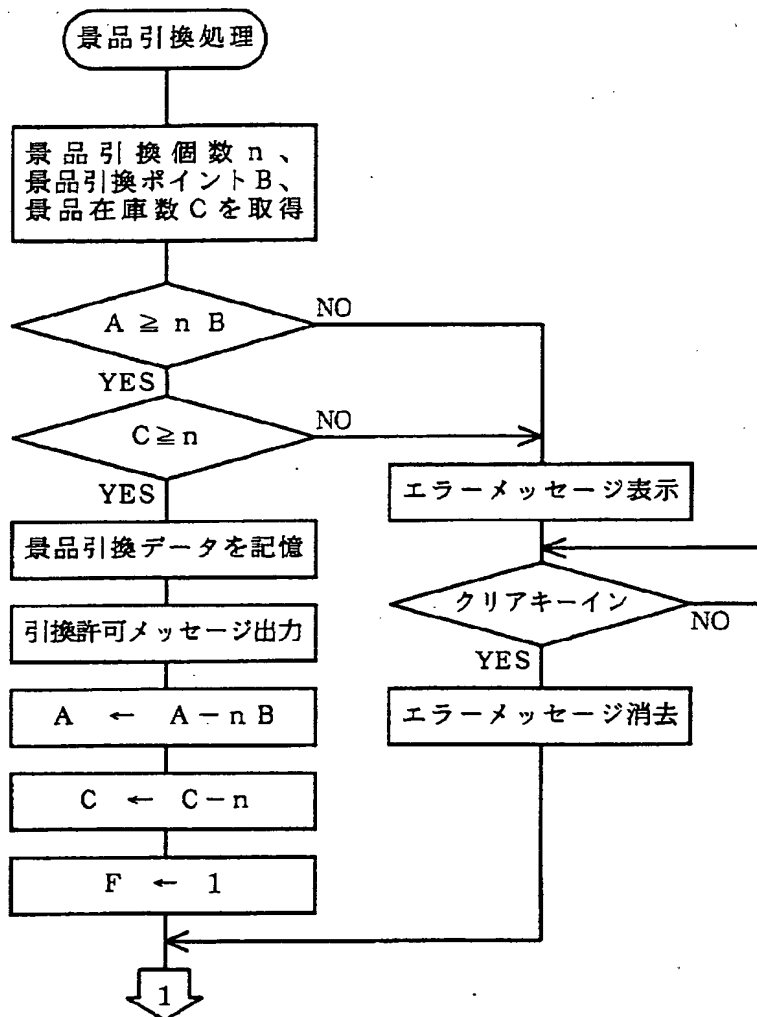
【図13】



【図14】

景品引換券	
1995-11-11	
会員番号	35023181
001 めいぐるみ	1個
残ポイント	234点

【図9】



【図12】

(a)

景品番号	景品名	引換ポイント	お客様の ポイントは
001	商品券	5000	点 _____ です。
002	トースター	3500	
003	ぬいぐるみ	2000	
004	旅行券	10000	
005	ラジオ	5000	
006	調味料詰め合せ	1000	

引換を希望する景品の景品番号を入力して下さい。

終了—終了キー 訂正—取消キー

(b)

景品番号	景品名	引換ポイント	お客様の ポイントは
001	商品券	5000	点 _____ です。
002	トースター	3500	
*003	ぬいぐるみ	2000	
004	旅行券	10000	
005	ラジオ	5000	
006	調味料詰め合せ	1000	

引換を希望する景品の個数を入力して下さい。

終了—終了キー 訂正—取消キー